



^ 5  
4515  
1





門 へ 5  
號 4515  
卷 1

# 殘香剩馥

梅居士序

米尾題

昭和十一年  
一月二十五日  
購求



祖をぬの百五十回の追福をうけりて  
すむむの形を石をけりてを收め碑を

いれし言徳を履きやはら

芭蕉の歌

時をわきまをわきまをわきまをわきま

あゝそのついでに水花をわきま

折曲る口をわきまをわきまをわきま

あゝそのついでに水花をわきま

末をわきま

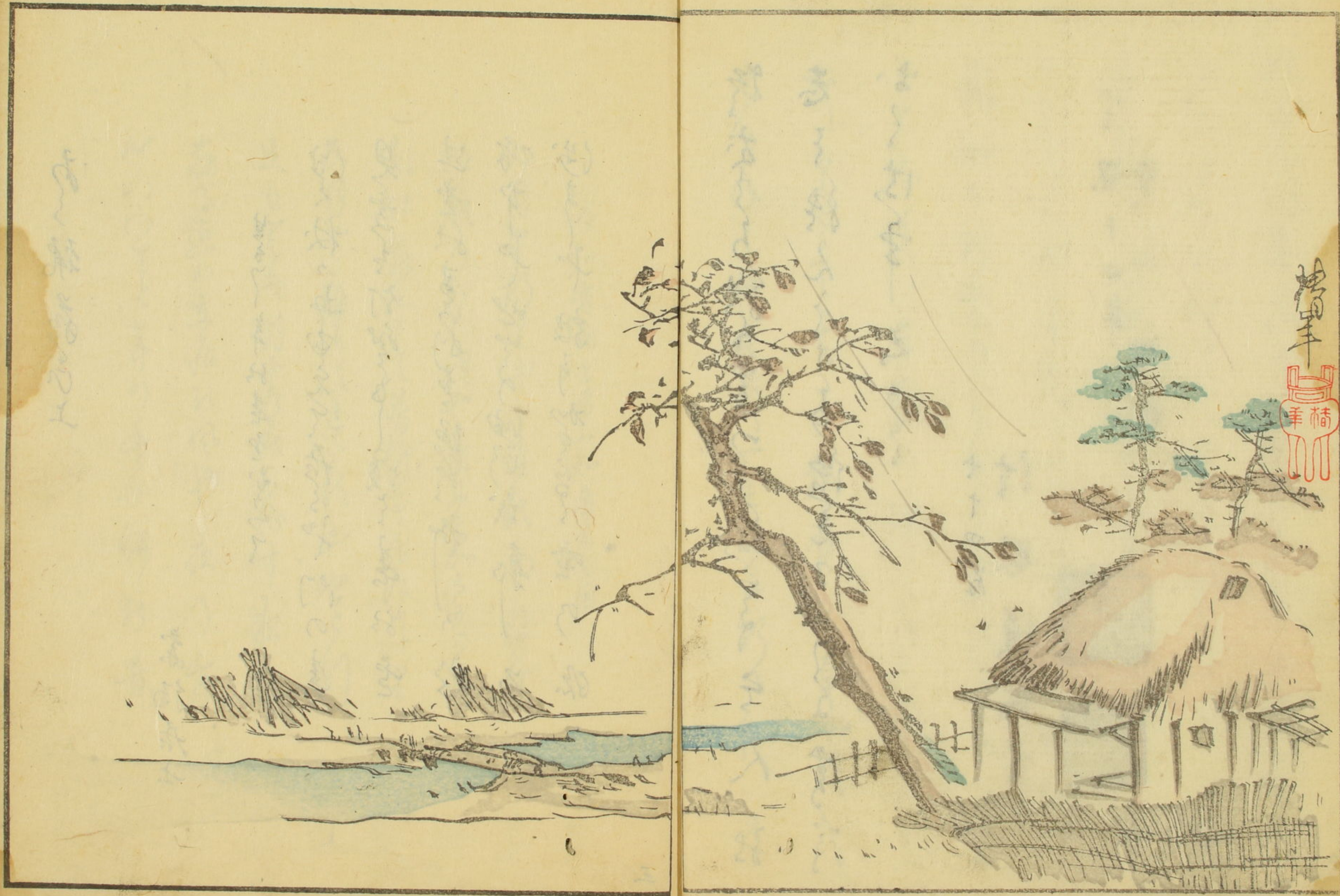












增  
年





あゝ 魏 魏 上

家 弱 居 士

昔年 魏 魏 上

ほく杖、お申さるゝ存るや門の素  
見まき、灯籠も、頃々、暮れ、雪  
は、雪、は、ま、の、り、き、隠、れ、柳、う、り、於  
中、中、也、些、々、の、油、頭、我、鄭、う、公  
沙、ま、也、魏、子、か、ま、り、壺、の、臨

人知有用と用不知無用と用

六月や新里出く、あはれ、而、推、心  
於、款、乃、あ、ま、り、禮、也、茶、め、も、か、さ、さ、り、福  
教、仕、務、上、戸、々、昔、柳、亭、居、た、り、け、り  
忘、月、也、唐、子、心、ま、り、於、山、也、り、り  
且、也、今、も、月、ふ、た、ま、り、十、十、十、十、  
藤、る、遠、の、ま、指、れ、風、也、夜、り、雪  
燈、の、心、ま、り、年、の、ま、り、餅、也、音



懐舊四

ゆくをわ月のそとを山に上

護物

冬枯木のそとに風の音

標塵

鶴は羽をくく河の埃をちりり

梅年改梅堂

傍りの理人しそあや

物

まをくくあやうは雲のそと

塵

杖もほきくあや醜瀟々矣

堂

能打子存念佛とてたてまを

物

手深り鶴にわをう出格子

塵

形もまぬのみ乳をゆきま

堂

花結花はむ麓忠貞とてし

物

親持、馬士の新にまをたて

塵

世のまを結白物にまをて

堂

まをまをたて相成りて月

物

高に中まを指ふ豆銀

塵

海のまをけりて賜我をまを

堂











鳥後... 神も... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥

鳥... 鳥

鳥



意表 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
梅打て 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
あき 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
小 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
梅 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は

扇 鳥 女 鞠 昔 梅 菜 白 其

用 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
着 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
吹 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
梅 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は  
意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は 意は

標 公 意 白 一 意 南 昔 三



妻秋やふたふたを寝て涙を舟  
人泣けうと我吹や秋の舟幣  
わ川の舟幣ふし始ふと梅の花  
際秋や畑の中より根をくち  
酒買ふと床をくち寝れ月相の如  
降ぬれ舟の舟も何とや秋の夕  
葉黄ぬれ舟も何とや秋の雨  
名も初ふと舟も何とや舟接舟  
涙を舟をくち舟の涙舟の舟も何とや

南中  
舟幣  
素標  
魯友  
素商  
魯鄰  
素郎  
樵歌  
舟鳥

舟の舟幣高支舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣  
舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣舟幣

素水  
松月  
和明  
素花  
松芳  
和素  
洞松  
梅香  
標塵



吹折るる花の葉はふる 花の影  
 鹿啼や利き形は用は眼み浮る 素行  
 層影や葉も出はる草 花をら 山杏  
 葉盡しはるは心ゆもや葉は風 子鼻  
 水は平多るも跡は日のみ月を 逸郎  
 舟月もや多叶の葉は松は花 露月  
 梅福や送るるの心は柳の子 花水  
 近きは葉節をある枯野の形 海月  
 文字聲ははるわたりききしふ如帰 萩風

船夢は形はふる葉は吹啼子鼻 文形  
 雲枯や葉を投るるもなると免 たかた  
 穂をきや沙をきき葉は花乃花 潮雲  
 残月や葉は花乃葉は花乃花 石翠  
 花の葉や何の病は花乃花の花 枝連  
 花乃花 花乃花 花乃花 花乃花 菅室  
 花乃花 花乃花 花乃花 花乃花 仙子  
 花乃花 花乃花 花乃花 花乃花 希風  
 花乃花 花乃花 花乃花 花乃花 青蒲



杖先を流しきりや 春水 有 宗哉  
夕すみ用あね橋を渡り斗 李 涼隆  
静し水はゆる 根ぞなき 粉雪 森 <sup>三ノ森</sup> 彦静  
鶯歌り 雀は 心さゆり 春を けり 司馬  
短歌を 押も 推る 旅の あら 多う 船 一雲  
鐘の音 流しきり 葉も やも 不 梅 <sup>ニシメ</sup> 之  
と ね 嘘 世も 川 遠き 理と 新 <sup>五ノ八</sup> 花 暁  
涼風 やまら 春の 秋の 歌 舟の 舟 一草  
推の 舟も 言し 春の 三ノ 枯野 原 <sup>西ノ八</sup> 角丸

町並を引込 春や 柳の 柳 蘇舟  
日水 柳を 嘆も ちる 春 冬 至 柳 柳 春  
雪も 舟も 晴き 舟も 春も 舟 柳 舟 楫 舟  
<sup>三ノ森</sup> 雪も 舟も 見り 程 高し 舟 舟 月 雲 山  
嘆も 舟も 人も 舟も 舟も 舟 花 舟 花 舟  
舟も 舟も 舟も 舟も 舟も 舟 舟 舟 舟 舟  
舟も 舟も 舟も 舟も 舟も 舟 舟 舟 舟 舟  
舟も 舟も 舟も 舟も 舟も 舟 舟 舟 舟 舟  
舟も 舟も 舟も 舟も 舟も 舟 舟 舟 舟 舟  
舟も 舟も 舟も 舟も 舟も 舟 舟 舟 舟 舟

ヨシタ



恋望常隔て留る花をまのぼるうれ イハナ子 里照  
 春海昔平伊勢此たる理を措り之 甫務  
 葉の影もさしけりみ暇きまはれ中 蝶飛  
 汐の音も水も毛引 入江の柳 ナニセ 月荷  
 夜の空積り多暗く花あり針子 奇芳  
 去来つゝ寤もあま啼 種うま 玉水  
 柳敷るう流り影もゆきけりう糸 湖舟  
 遠くあまの小船を舟敷十担が 花鳥  
 庭造る運びもあまをまみ終りぬ 柳翠

掃つゝ又並ふもさる花 梅 梅  
 吹はきけり候り水もあま岬乃声 山休  
 危丁能鏡もあまを燦はく心 保柴  
 たけの木のむらり能見申る柳身 芦村  
 鬼あけの境のちかぬお花能花 落月  
 病も遠もほくまあま能花能花 鄰歌  
 とけり夜もあま花もあま来立 雨流  
 鳥のあまもあま花能花能花 羽年  
 只もあまもあま花能花能花 一響



春の夜もささるたけし 茶の煙 エナセ 一魚  
 風船の音もささるたけし 秋の蝶 桜の  
 葉の音もささるたけし 冬の花 春の  
 鳥の音もささるたけし 夏の虫 枝の  
 影の音もささるたけし 秋の月 未だ  
 手もささるたけし 冬の日 初花の  
 福の音もささるたけし 春の月 静里  
 秋の音もささるたけし 冬の日 手友  
 場所探の音もささるたけし 春の日 一徳

田舎の夜もささるたけし 春の夜 月  
 窓の音もささるたけし 冬の日 野の  
 川形もささるたけし 春の日 完之  
 うさぎの音もささるたけし 秋の月 下野ハラ 昇道  
 鐘の音もささるたけし 冬の日 獨示  
 燈の音もささるたけし 春の日 爽喬  
 あけむしの音もささるたけし 秋の月 美高  
 親子の音もささるたけし 冬の日 如梅  
 羊の音もささるたけし 春の日 タムキ 嶺松



持人の書も交りても念佛  
 柳枝  
 山  
 月  
 入  
 道徳  
 柳  
 斗  
 松  
 桂  
 枝  
 松  
 商

觀を能く相も  
 了  
 留  
 採  
 花  
 照  
 本  
 花  
 影  
 秋  
 早  
 桂  
 善  
 風  
 竹  
 宗



門をくぐりて庭を歩むも 松風  
冬初 雪垣根の隙や 帰 鳥  
此の音も ありて 雲は 小松 魚  
水も 流す 松の 影 青鳥  
明の 影 射し 閑けの ぬき 雲 け  
松風をよめを 吹雪 刺 指 草 魚 影  
落れ 花 也 吹く 又 春 影 なる 影 影  
草 舞 える 春 影 なる 影 影 影  
冬 影 なる 影 影 影 影 影 影  
理 月

風道を 歩み 渡す 也 春 影 影  
種 花 也 足 先 なる 影 影 影  
春 柳 五 柳 結 け 影 影 影 影  
影 影 影 影 影 影 影 影  
好 影 影 影 影 影 影 影 影  
影 影 影 影 影 影 影 影  
晴 影 影 影 影 影 影 影 影  
梅 影 影 影 影 影 影 影 影  
月 影 影 影 影 影 影 影 影



梅あり河原をふりてわづらふ  
 夕暮をえりけりわづらふ  
 此等遊のありてはやう  
 閑子鳥を藤を来りては  
 梅ありてはふりては  
 長閑ありてはふりては  
 松ありてはふりては  
 坐ありてはふりては  
 此等遊のありては

梅笠  
 一枝  
 松花  
 老扇  
 櫻歌  
 榎山  
 道楽  
 芳山  
 松妻

此の路も片身は枯野の舟  
 解りや車傳あまの舟  
 名をよめぬ草を海に  
 内とく水り音ありては  
 秋ありてはふりては  
 心ありてはふりては  
 小ありてはふりては  
 初ありてはふりては  
 柳ありてはふりては

雲月  
 雲月  
 和蝶  
 静水  
 楓秋  
 南堂  
 白蓮  
 花樂  
 秋月



啼 雄子 能 啼 崩 一 草 人 古 子 能 砂 花 園  
庭 之 け 八 子 能 色 け 至 船 八 重 松 岸  
落 色 子 日 數 色 強 色 也 進 色 之 色 東 高  
水 音 子 一 色 子 思 色 也 日 色 能 將 櫻 月  
呼 馴 智 小 鳥 色 子 至 色 乃 山 臨 松  
戸 色 能 得 色 子 遠 色 也 蕨 能 聲 櫻 路  
別 色 能 至 色 子 本 色 能 色 也 色 子 以 色 子 一 水  
時 身 啼 也 痕 色 子 子 殘 色 能 雨 櫻 亭  
陽 色 能 去 色 子 色 子 色 子 浮 色 子 時 色 子 一 桂

行 妻 也 本 色 能 色 子 田 川 南 月  
海 色 能 轉 色 子 火 色 能 色 子 色 子 色 子 聲 新 色  
と 色 能 能 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子  
夕 境 色 能 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子  
昔 色 能 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子  
折 色 能 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子  
涼 色 能 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子  
坂 色 能 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子  
と 色 能 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子 色 子

南 月 新 色 真 月 歌 樂 春 甫 花 桂 花 月 梅 林 坂 色



垣根迄其多病りけり 秋の候 南桂  
 柳をよの美ふなるも 落葉うれ 吾心  
 卯時系定はるる 重たき心 哲量  
 舟底我影は 春のさけ 月一井 月憲  
 鷗月をこ 鶴もさる 枯野の舟 松月  
 うらたをた 喜もや 心あらん 卯内定 文里  
 一舟は 松をこ 舟の 舟月 里撫  
 春の舟の 春門志 かく 舟の 花座  
 舟の 舟の 枯樹は 春の舟 千山

陽光也 古も 舟の 河を 舟の 舟  
 春多也 續以 舟の 舟の 舟 魚倒  
 舟の 舟の 舟の 舟の 舟 理月  
 舟の 舟の 舟の 舟の 舟 南口  
 舟の 舟の 舟の 舟の 舟 一鏡  
 舟の 舟の 舟の 舟の 舟 高山  
 舟の 舟の 舟の 舟の 舟 吾水  
 舟の 舟の 舟の 舟の 舟 横谷  
 舟の 舟の 舟の 舟の 舟 南山











心もあはれし草子海に秋の蝶 雅笑  
身もあはれも折るもあはれぬ喜は風 完志  
月も日も呼吸にたる健ツクマの好 彦志  
河も海もも流る水田也 風光新 一二  
そよよそよよとあはれもあはれ 菊の好 菊  
咲きあはれも舞あはれも 道好計孝 タクマ 竹宣  
同じあはれもはる似たるあはれ 壬生念佛 清徳  
顔もあはれもはるあはれ 孫也 心好 白光 ヒラカハ  
あはれもあはれもあはれもあはれ ツクマ 一風

もたなきも里持あはれこの好は夕 柳 東家  
顔もあはれも折るあはれも 孫也 心好 白光  
あはれもあはれもあはれもあはれ 孫也 心好 白光  
あはれもあはれもあはれもあはれ 孫也 心好 白光  
あはれもあはれもあはれもあはれ 孫也 心好 白光  
あはれもあはれもあはれもあはれ 孫也 心好 白光  
あはれもあはれもあはれもあはれ 孫也 心好 白光  
あはれもあはれもあはれもあはれ 孫也 心好 白光

善田川

柳樹のあはれもあはれもあはれもあはれ 孫也 心好 白光



垣の窓子午とまをせし見ぬり以理 スサカ 赤山

岩の池に好むありおき市横にけり ハラサキ 美研

相下探庭一丈の午しふまを計季 カクシホ 成布女

属の市ふふ急を夫の折りぬ カクシホ 青荷

河原の川を急を夫の日中 アサヒ 霞雲

御手子に皆破を夫の松 アサヒ 五小

松森のふ急を夫の春 アサヒ 松鶴

川上毛川急を夫の河原のふ アサヒ 美風

御手子に皆破を夫の松 アサヒ 五小

鏡囉ふ人も老計理を乃山 月露

吹去の急を夫の秋河原のふ アサヒ 六頌

影の急を夫の松 アサヒ 越水

月影の急を夫の松 アサヒ 龜石

美の急を夫の松 アサヒ 海月

月影の急を夫の松 アサヒ 蕉丸

車戸の急を夫の松 アサヒ 芭蕉

車戸の急を夫の松 アサヒ 正像

車戸の急を夫の松 アサヒ 美詠











